



## 小平第四中学校

所在地 小平市学園西町一丁目3番1号  
 電話 042-341-4344 FAX 042-341-4258  
 電子メール gakkou@34.kodaira.ed.jp  
 校長 関 勝志 副校長 池上 大輔  
 生徒数 570名 学級数 17学級  
 教職員数 38名

### 【沿革】 (抜粋)

- 昭和39年 第1期工事着工  
 市議会で小平第四中学校設立議決  
 40年 第1回入学式・開校式 校章制定  
 41年 校歌制定・翌27日発表会  
 42年 校旗樹立式  
 湯川秀樹博士門標取付  
 46年 47年度より第一中学校区の一部を本校学区に編入  
 50年 創立10周年記念式典  
 51年 上水中学校開校により本校学区変更  
 56年 老人福祉の善行表彰受賞  
 60年 創立20周年式典  
 平成元年 東京都進路指導研究推進校指定  
 4年 パソコン教室完成  
 7年 創立30周年記念式典  
 10年 東京都「いじめ等の協力推進」指定  
 スクールカウンセラー配置  
 15年 小平市研究推進校指定  
 16年 小平市研究協力校指定  
 17年 創立40周年記念式典  
 20年 耐震補強及び大規模改修工事完成  
 23年 小平市研究推進校指定  
 研究奨励個人、グループ研究校指定  
 26年 一橋学級（通級学級）開設  
 27年 創立50周年記念式典  
 令和元年 小平市研究推進校指定  
 2年 小平市研究推進校指定・研究発表  
 5年 体育館冷暖房設備設置工事竣工

### 【教育目標】

- (1) 自分で考え進んで実践する人間
- (2) 公共心に富み情操豊かな人間
- (3) 勤労を尊び責任を重んじる人間
- (4) 健康でたくましい人間

### 【教育目標を達成するための基本方針】

- ① 生徒が持続可能な社会の創り手となるよう自立を支援するとともに、共生社会を形成し社会に貢献する資質と態度を育成する。「誰一人取り残さない学校」を実現する。
- ② 望ましい学習習慣を形成し基礎学力の定着を図る。「主体的・対話的で深い学び」の実現ために指導方法を工夫・改善するとともに、習得した知識・技能を活用する学習活動の充実を図り、「確かな学力」を育成する。
- ③ 道徳教育を充実し、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。体験的活動や探究活動を充実し、社会性や創造性、表現力を育み、「豊かな人間性」を育成する。
- ④ 保健体育科の授業や体育的活動、部活動等を通して体力の向上を図り、生涯にわたり主体的に運動に親しむ資質と能力を身に付けるとともに、食育など健康教育を充実し、「健康と体力」を育成する。
- ⑤ 人権尊重に基づき、人権教育と道徳教育を通して規範意識を醸成するとともに、生命尊重や思いやりの心を育て、いじめや暴力行為を根絶する。自己肯定感を高め、SOSの出し方に関する教育を推進し、自殺の未然防止を徹底する。



- ⑥ インターネットやSNSの利便性の陰に隠れた危険性や弊害など、正しい知識を身に付けさせ、健康で安全な生活と望ましい人間関係を構築するために、適正な使い方を指導する。また、性暴力の加害者や被害者、傍観者にならないよう、生命（いのち）の安全教育を推進するとともに、薬物乱用防止について正しく指導する。
- ⑦ 全教職員が障がいや特別支援教育、不登校への理解を深めるとともに、コーディネーターを中心に校内委員会を効果的に機能させ、支援が必要な生徒に対して適切な支援を積極的に行う。別室「カルガモ教室」の運用やユニバーサルデザインの視点での環境整備、授業改善を推進する。
- ⑧ 将来の生き方について考え、夢や目標をもち、主体的かつ適切に進路選択する資質と能力を養う。社会的・職業的自立と自己実現をめざしたキャリア教育を推進する。
- ⑨ オリピック・パラリンピック教育「学校2020レガシー」として、ボランティアマインド及び障がい者理解を設定するとともに、ESDと関連付けた教育活動を推進する。
- ⑩ SDGsについて理解を深め、各教科及び道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等の内容と関連付けるとともに、防災及び環境問題の解決に重点を置いてESDを推進する。
- ⑪ 都型学校運営協議会を基盤として、地域教育コーディネーターや青少対、自治会など、地域との連携を強化し、コミュニティ・スクール導入に向けて基礎を構築する。また、近隣の大学と連携し、教育環境の整備や人材の確保、教育資源の活用、防災・防犯体制の構築等を推進する。
- ⑫ 学校公開や行事、保護者会、教育相談等を効果的に実施して信頼関係を構築し、学校と家庭が一体となった教育活動の充実及び家庭の教育力の向上を図る。保護者評価を学校経営に反映させる。
- ⑬ 9年間を見通した四中校区の小・中連携教育を推進し、同じ目標に向かって「知・徳・体」を育成する。

### 【特別支援教室「一橋」の教育目標】

- (1) 自己理解や自己受容を深め、意欲をもって生活する。
- (2) 友達及び教師と円滑で望ましい人間関係を形成する。
- (3) 学習及び生活上の困難を主体的に克服し、自立する。
- (4) 将来の生き方を考え、夢や目標をもって生きていく。

### 【一橋学級の教育目標を達成するための基本方針】

- ① 校内委員会での情報共有とともに、専門家の助言により、指導内容の評価・改善を図り、より効果的な支援を行う。
- ② 自己肯定感を育むとともに、コミュニケーションスキルを身に付け、在籍学級で安心して生活できるようにする。
- ③ 個に応じた指導及び教材の効果的な活用を通して自立を支援し、よりよく生きる力を身に付ける。
- ④ キャリア教育を通して自己肯定感を高め、主体的に進路選択し、夢や目標をもち逞しく生き抜く力を身に付ける。



第59回運動会 3年生ムカデ競走



## 小平第五中学校

所在地 小平市小川町一丁目798番地  
 電話 042-341-6795 FAX 042-341-6797  
 電子メール gakkou@35.kodaira.ed.jp  
 校長 伊藤 克行 副校長 石神 晋哉  
 生徒数 618名  
 学級数 21学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）4学級）  
 教職員数 37名

### 【沿革】（抜粋）

昭和46年 小平市立小平五中学校開校  
 （開校記念日は6月7日）  
 プール完成  
 47年 体育館完成  
 48年 校歌制定 第1回卒業式（4学級 150名）  
 49年 市研究推進校発表  
 56年 創立10周年  
 58年 市研究奨励校発表  
 61年 校舎大規模改修工事開始  
 平成3年 創立20周年  
 5年 校舎大規模改修工事終了  
 8年 市研究奨励校発表  
 12年 P T A組織制定  
 13年 創立30周年  
 17年 小平市教育委員会研究協力校  
 18年 学校支援ボランティア活動開始  
 21年 特別支援学級8組開設  
 23年 創立40周年  
 25年 市教育研究発表  
 29年 パラリンピック応援校  
 令和元・2年 都教委・市教委  
 「法」に関する教育研究指定校  
 N I E実践指定校  
 3年 創立50周年

### 【教育目標】

人間尊重の理念を正しく理解し、健康で自ら学ぶ意欲にあふれ、自然と平和を愛し国際社会に貢献できる生徒の育成をめざし次の目標をおく。

- 考える人間
  - たくましい人間
  - 思いやりのある人間
- この目標をもとに、知・徳・体のバランスのとれた育成をめざす。
- ・自ら学び、考えて行動できる人間（知）
  - ・心身ともに健康で、柔軟でたくましい人間（体）
  - ・互いの人格を尊重し、思いやりにあふれる人間（徳）



学級での話し合い活動



### 【教育目標を達成するための基本方針】（抜粋）

- (1) 人権尊重教育の推進
  - ・十分な生徒理解の上に立って、学年・学級経営を行う。
  - ・人を傷つける言動があった場合には即時に対応する。
  - ・生徒が起きている問題を自分事として捉え、解決に向かっていけるような学年・学級経営を行う。
- (2) 学習指導要領の実現に向けた授業改善と教育活動の充実
  - ・学力向上を目指した指導方法の工夫を行う。
  - ・体力向上の取組を通して心身の健康づくりに努める態度を育成する。
  - ・I C Tを活用した教育活動の工夫を行う。
- (3) 生徒の健全育成に向けた特別活動と生徒指導・進路指導の充実
  - ・特別活動を充実させ、生徒が主体的に生徒会活動や学校行事に取り組むことができるようにする。
  - ・教職員が生徒理解に努めるとともに、教職員全体で共通理解、共通実践を徹底し、生活指導を充実させる。
  - ・特別活動を要として、教科横断的にキャリア教育の充実をはかる。
  - ・部活動の教育的意義を踏まえ、適切な運営体制の下、活動の充実をはかる。
- (4) 特別支援教育の充実
  - ・特別な支援を必要とする生徒一人一人の個に応じた指導を組織的に推進する。
  - ・ユニバーサルデザインの視点での教育環境の整備と授業改善を行う。

### 【特色ある教育活動】

- ①校内研究  
「生徒理解とより良い支援方法」について様々な視点から研究する。
- ②朝読書  
毎朝、登校後の始業前に読書を行うことで落ち着いて一日をスタートさせる。
- ③あいさつデー  
毎月5のつく日のうち一日を「あいさつデー」として生徒会役員や専門委員があいさつを呼びかける。
- ④児童会・生徒会サミット  
校区の小学校と連携し、テーマに基づく協議を行い、各校の子供たちの実践的・自治的活動を推進する。
- ⑤学校支援ボランティア  
保護者・地域・学生等が、学校支援ボランティアとして学校が必要とする教育活動や環境整備等の支援を行う事業を支援する。また、地域人材を活用した、「放課後学習教室」を開設する。



## 小平第六中学校

所在地 小平市大沼町六丁目4番1号  
 電話 042-341-6796 FAX 042-341-6798  
 電子メール gakkou@36.kodaira.ed.jp  
 校長 大島 義明 副校長 宮崎 忍  
 生徒数 626名 学級数 18学級  
 教職員数 33名

### 【沿革】 (抜粋)

昭和46年 小平市立小平第六中学校開校  
 教育目標及び図案化した校章を決定  
 47年 南棟鉄筋校舎完成、体育館竣工  
 48年 校旗・校歌制定  
 49年 文部省、東京都主催陶芸研究会実施  
 50年 市教育推進校として研究発表会実施  
 53年 南棟増築校舎完成  
 56年 創立10周年記念式典  
 57年 校舎増改築・体育館倉庫工事完了  
 60年 校舎外装工事・屋上改修工事完了  
 平成3年 創立20周年記念式典  
 6年 コンピューター室、新視聴覚室完成  
 13年 創立30周年記念式典  
 17年 北校舎耐震補強工事  
 18年 第2期耐震補強工事  
 20年 プール改修工事  
 23年 創立40周年記念式典  
 24年 普通教室エアコン設置工事  
 26年 コミュニティ・スクールに指定  
 28年 スーパーアクティブスクールに指定  
 令和2年 市教育推進校として研究奨励校指定  
 3年 創立50周年記念式典挙行  
 市教育推進校として研究奨励校発表会  
 5年 体育館冷暖房完備

### 【教育目標】

敬愛 「生命の尊さ」を一人一人が心に深く受け止め、  
 自他を尊重し、何事にも感謝の気持ちをもって、  
 助け合い、励まし合って生きる生徒  
 勤勉 人には優しく、自分には厳しく、仕事や勉強に積  
 極的に最善を尽くして努力し、自分の行動に責任  
 をもって生きる生徒  
 創造 自ら学ぶ意欲をもち、個性豊かな自己実現に向け  
 て、人間としてより価値のあるものを創り出して  
 いく生徒



学習者用端末を活用した授業



### 【目指す学校像】

- 1 自ら可能性を感じ、主体的に活動し、将来に向けて挑戦できる魅力ある楽しい学校
- 2 安心と信頼があり、子供を通わせたい学校
- 3 地域住民や保護者、関係者・学校が協働し、生徒の成長を支える学校

### 【今年度の地域とともに歩む12の取組】 (主な取組)

- ①「こだろくスキル」の定着
  - ・キャリア教育の基礎的汎用能力を「こだろくスキル」と設定し、定着させる。
- ②基礎学力の定着と学力向上
  - ・六中スタンダードの実施・朝時間(学年タイム)の活用
  - ・放課後学習室等(ジョイナス)の活用 他
- ③生活指導の充実 六中スリーアイズ+1
  - ・指導体制の整備、指導の徹底、規範意識の向上 他
  - ・生徒会活動の充実、部活動の充実 他
- ④自己実現の達成を図る
  - ・生きる力の育成
  - (進路指導・進学指導の充実、地域連携活動の推進) 他
- ⑤地域の教育力の活用と小中連携教育の推進
  - ・コミュニティ・スクール各種プロジェクトの推進
  - ・小中連携教育(六中地区)の推進 他
- ⑥心身の健康促進
  - ・体力向上と「こだろくノート」による生活習慣づくり
  - ・不登校生徒の対応・ほっとルームの運営の工夫 他
- ⑦家庭・地域社会との連携
  - ・情報発信の充実、家庭や地域との連携の充実 他
- ⑧環境教育と環境の整備
  - ・SDGsへの取組み
  - ・学習環境の整備
  - ・明るい環境づくり推進 他
- ⑨防災教育(安全指導)の推進
  - ・避難訓練・防災訓練の工夫
  - ・避難拠点マニュアルの整備 他
- ⑩特別支援教育の推進
  - ・特別支援教育校内委員会の充実
  - ・不登校生徒対応・ほっとルームの運営 他
- ⑪校内研修・研究の推進
  - ・研究発表の成果を基盤とした取組の継続
  - ・GIGAスクール構想に基づく学習者用端末の活動 他
- ⑫学校事務における管理や適正化
  - ・分署との円滑な連携と効率的な予算執行等
  - ・適正な会計処理や会計事故の防止
  - ・服務規律の徹底、法令遵守等



## 上水中学校

所在地 小平市上水南町一丁目7番1号  
 電話 042-323-8611 FAX 042-323-8610  
 電子メール gakkou@37.kodaira.ed.jp  
 校長 市川 順康 副校長 植木 淳  
 生徒数 299名 学級数 9学級  
 教職員数 26名

### 【沿革】(抜粋)

昭和50年 市議会において、小平市立上水中学校を7月1日付で設置する旨議決  
 開校記念式及び始業式挙行  
 51年 体育館完成  
 52年 東京都北多摩特別活動研究発表校  
 57年 給食開始  
 60年 小平市教育奨励校  
 創立10周年記念式典挙行  
 平成3年 文部省中学校生徒指導総合推進校  
 6年 コンピュータールーム完成  
 7年 創立20周年記念式典挙行  
 11年 小平市教育委員会研究推進校  
 12年 小平市教育委員会研究協力校  
 14年 プール改修工事完了  
 17年 創立30周年記念式典挙行  
 18年 小平市教育委員会研究推進校  
 19年 小平市教育委員会研究協力校  
 21年 校舎耐震工事Ⅰ期  
 22年 校舎・体育館耐震工事Ⅱ期  
 23・25年 東京都言語能力向上推進校  
 26・27年 小平市教育委員会研究推進校  
 27年 創立40周年記念式典挙行  
 放課後子ども学習教室開始  
 28・29年 東京都道徳教育推進拠点校  
 コーディネーショントレーニング地域拠点校  
 30年 上水中避難所マニュアル完成  
 令和元年 オリンピック・パラリンピック教育推進事業  
 「夢・未来プロジェクト」実施  
 オリンピック・パラリンピック教育推進事業  
 パラリンピック競技応援校  
 3・4年 小平市教育委員会研究推進校

### 【教育目標】

人間尊重の精神を基調とし、知性、感性、道徳心や体力を育み、生涯を通じ主体的に学び、社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指し、教育目標を次のように定める。

- 自ら考え、進んで実行する人
- 心豊かで思いやりのある人
- 心身ともにたくましい人

体育大会  
 応援旗



### 【教育目標を達成するための基本方針】

- 1 確かな学力の育成
  - 生徒が自ら学び、考えを深め、実践に移す力を身に付けさせるために、基礎・基本の定着に重点を置きながら問題解決型学習（生徒に調べさせ、考えさせ、討議させ、発表などを行わせ、その活動を振り返らせる）の実践に努め、授業改善に取り組む。
  - 家庭との連携の下、学習習慣を確立させ、自立した生徒を育成する。
  - 少人数授業や個別学習を通して苦手意識の強い生徒の学力の底上げを図る。
  - 令和3・4年度の研究推進校として取り組んだ「ICTを活用した授業改善・指導の充実」の成果を生かし、また新たな課題に対処する継続した取組により、学力向上を図る。
- 2 豊かな心の育成と健やかな体の育成
  - 道徳科を要として教育活動全体を通して、自他共に大切にできる心や、相手の立場に立って行動できる態度を身に付けさせる。加えて高い規範意識の育成に努め、互いに人格を認め合う姿勢を育み、いじめのない学びの場を構築する。
  - 保健体育の授業や昼休みにおける運動量を一層確保して、体力を向上させる。また、薬の教室、SOSの出し方に関する教育など保健分野の授業の充実を図る。
- 3 特別支援教育の推進
  - こだいら共通プログラムを踏まえた上で、特別支援教育を柱とした教育活動を実践する。また、小平第三小学校と連携を深め、一貫性・継続性を重視した教育の実践に努めるとともに、学習者用端末をはじめICT機器の効果的な活用についての連携も図る。
- 4 キャリア教育の推進
  - 学級活動を要としながら、学校教育全体を通して一人一人のキャリア形成と自己実現を促す。
  - 学区内の全小学校との連携を図るため、キャリア・パスポートを活用する等、学校段階間の円滑な接続を目指す。



## 花小金井南中学校

所在地 小平市花小金井南町一丁目9番1号  
 電話 042-465-0451 FAX 042-465-0410  
 電子メール gakkou@38.kodaira.ed.jp  
 校長 堀井 賢治 副校長 飛永 直子  
 生徒数 553名  
 学級数 18学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）2学級）  
 教職員数 32名

### 【沿革】（抜粋）

- 昭和53年 生徒291人、7学級で開校  
 花南中学校新築落成及び開校記念式典挙行  
 プール竣工、体育館竣工、校章制定
- 54年 校歌制定
- 56年 「ゆりの木」17本植樹（緑の銀行寄贈）
- 60年 防災・防震受水槽設置  
 58・59年度小・中連携教育研究発表会
- 62年 特別教室4教室竣工  
 創立10周年記念式典
- 平成6年 生垣工事完成  
 校舎改修
- 9年 創立20周年記念式典
- 10年 心の相談室設置
- 13年 全日本中学校技術・家庭科研究大会研究授業、研究発表  
 「生きる力」をはぐくむ、総合的な学習の実践について研究発表
- 19年 創立30周年記念式典  
 小平市研究協力校
- 20年 耐震補強工事  
 小平市研究協力校発表
- 21年 「特色ある教育活動」研究発表
- 22年 増築棟完成
- 23年 特別支援学級開設
- 24年 東京都「自尊感情や自己肯定感を高める教育」推進校
- 24・25年 東京都スポーツ教育推進校
- 27年 オリンピック・パラリンピック教育推進校  
 小平市教育委員会指定 研究推進校1年次  
 「共により良く生きるための道徳授業の実践」
- 28年 小平市教育委員会指定 研究推進校2年次  
 「共によりよく生きるための道徳の時間の実践」
- 29年 創立40周年記念式典
- 令和2年 地域開放型体育館完成
- 3年 パラリンピック競技応援校「ボッチャ」  
 旧体育館跡地にテニスコート完成
- 4年 小平市教育委員会指定 研究指定校1年次  
 「主体的に学習に取り組む生徒の育成」
- 5年 小平市教育委員会指定 研究指定校2年次  
 「主体的に学習に取り組む生徒の育成」  
 コミュニティ・スクール設置



### 【教育目標】

- 豊かな心を養い  
 学力、体力の向上をめざし  
 未来へはばたく人物を育成する
- 1 心身ともに健全で、自らを鍛え努力する人
  - 2 進んで学び、社会のために尽くす人
  - 3 認め合い、支え合う心優しい人

### 【教育目標を達成するための基本方針】

- コミュニティ・スクールとして、社会に開かれた地域と共に歩む学校づくりを推進する。学校からの情報発信を積極的に行い、関係小学校や青少年対策地区委員会、民生委員等、外部人材との連携体制を推進する。
- 全ての生徒に「生きる力」を育むことを目指し、生きて働く知識、技能の習得と未知の状況でも対応できる思考力、判断力、表現力等の育成、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養を相互に図りながら、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となる生徒を育成する。令和4年度から2年間の小平市の研究推進校の指定を受け、特別支援教育の視点に立った環境づくり・ICT機器の積極的な活用から主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。誰にでも分かりやすい授業を推進し、生徒の確かな学力の向上を図ることにより、生徒の力を鍛え、自信をつけさせる。
- 全教育活動を通して道徳教育を行い、いじめや偏見・差別のない好ましい人間関係を育み、他と協力ができる思いやりや心の豊かな人間性・社会性の育成を図る。障がい理解学習や福祉に関する学習を進め、人権尊重の精神を育む。また、「特別の教科 道徳」の時間の充実を図ることで心の教育を推進する。
- 生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくとともに、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、生徒が自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるようにする。また、パラリンピック競技応援校の取組を継続し、スポーツの価値や効果を再認識するとともに、国際的な視野をもって世界の平和や多様性の尊重の精神を育み、社会で活躍できる人材の育成に努める。また、日本文化を大切にするとともに、これらを尊重する態度を育成する。
- 家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力を密にし、生徒の健全育成を広い視野から考える開かれた生徒指導の推進を図る。
- 地域社会や生徒の実態に応じ、創意工夫を生かした総合的な学習の時間を計画し、豊かな心や創造性の涵養をめざす。体験活動等、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、勤労を尊ぶことや、自ら課題を見つけ、自ら解決する資質や能力の育成を図る。
- すべての生徒に「生きる力」を育むことをめざし、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の涵養をめざす。